

クラクフ市内自転車店及びキエルツェ自転車展調査報告（ポーランド）

調査実施日：平成22年10月14日(木)～15日(金)

訪問地域：クラクフ市内及びキエルツェ市内

1. クラクフ市内自転車店調査

調査店舗①

まず、クラクフ中央駅からバスで10分程の店舗を訪問した。民家を改装したような外見の同店は、チェコ共和国のスポーツ車ブランド、オーサーの専門店であった。取り扱い車種はMTBが中心で店内には30台、10,000ポーランドズロチ(以下PLNと表記;300,000円)に達するものもあるが、中心価格帯は2,000～5,000PLN(60,000～150,000円)であった。中庭の屋外に安価なMTB10台とシティ車及びトレッキング車が計5台展示されており店内には前フォークサスペンションやディスクブレーキなどの部品や付属品も充実していた。

調査店舗②

次に中央駅からバスで15分程の中規模店を訪問した。店の前には大学がある地域に位置し取り扱いブランドはドイツのコラテックと地元ブランドのUNIBIKEのMTBが中心であった。コラテックは20台、価格帯は2,000～3,000PLN(60,000～90,000円)が中心でUNIBIKEは30台、価格は1,000PLN(30,000円)以下が主体であった。また、同店はシマノの部品が揃っていた。



調査店舗①



調査店舗②

調査店舗③

引き続き、観光地として有名な旧市街地に位置するMTB中心のスポーツ車専門店を訪問した。主要ブランドのスコットは、10,000PLN(300,000円)を超える高額車を筆頭に20台、更にCUBEは5,000～10,000PLN(150,000～300,000円)で20台展示されていた。オーサーは5,000PLN(150,000円)以下で10台と少量だがスコットとCUBEのトレッキング車も展示されていた。更に屋外には、UNIBIKEの廉価車が10台と子供車10台が陳列されていた。店内は部品、付属品も整然と並び明るい様子で、今回調査した中では最も高額商品が揃っていた店舗であった。



調査店舗③

調査店舗④

続いて中心部川沿いの小型店舗を訪ねた。店内の自転車は 30 台程で殆どは中古車と見られるが、キャノンデールやビアンキなどの高額車も散見された。新車取り扱いには顧客から注文があった時に対応し、イタリアなどのメーカーから取り寄せているとのことであった。通常の小売店とは違い、より趣向性の高い商品が多い店舗であり、同国にもこのような需要があることが伺えた。



調査店舗④



調査店舗⑤

調査店舗⑤（※同店は在キエルツェ）

最後にキエルツェ中央駅近くに自転車小売店を見つけ訪問した。入り口はわかりにくいですが、駅前広場に別途大きな案内板が目についた。自転車売り場は地下に広がり、車種は MTB が中心でドイツのセンチリオンが 100 台、価格帯は 1,500~5,000PLN (45,000~150,000 円) でスロバキアのケリーサイクルは 50 台、価格帯は 1,500~3,000PLN (45,000~90,000 円)、他にはスペシャライズド 30 台、1,500~3,000PLN (45,000~90,000 円) であった。シティ車は 20 台、スペシャライズドのロードレーサー 5 台も展示してあった。マビックのホイールは専用什器に添えられるなど、部品や付属品も揃っていた。自転車売り場が大半を占めていたが、一部には自転車以外のスポーツ用品も見られた。

2. キエルツェ自転車展 (Kielce Bike-Expo)

同展はポーランド自転車産業界の協力により、ポーランドにおける本格的な国際自転車展と銘打ち本年より開催されたものである。

【Kielce Bike-Expo】

主催及び会場：Targi Kielce

会期：2010年10月15日(金)～17日(日) 9:00～18:00 (15日10時開始)

使用ホール：ホールF、G

入場者数：ビジネス客；2,500名、一般客；未公表

出展社数：64社 218ブランド (出展リストより集計)



会場正面



自転車展ホール



ホール内の様子



キエルツェは、ポーランド第2の都市クラクフから急行電車で2時間弱の地方都市である。今回の展示会場「Targi Kielce」は、市内中心部から車で15分程の場所に位置するが、公共交通機関との接続は良くなく、来場者の多くは自家用車やタクシーで駆けつけていた。ホールはA～Fまで合計6ホールあり、自転車展はうち2ホールを使用、他ホールでは食品関係の展示会を開催中であった。

主な出展ブランドとしては、国内ブランドではKROSS、ARKUS&ROMET等が多くの車種を展示

していた。他国ブランドではKTM、アクセルグループのヘラクレス/HAIBIKE及びラピエール、オルベア、スペシャライズド、LOOK、HARO、ラレー/ダイヤモンドバックなどがMTB等のスポーツ車を展示しており、その他、完成車、部品と付属品等、様々な出展物が揃い、小規模ながらも自転車展示会としての体裁を保っていた。



ARKUS & ROMET



KROSS



スペシャライズド



LOOK

電動アシスト自転車については、いくつかの出展者の小間でみられたが、取扱品の一つとして展示している様子で、価格も高額スポーツ車並みであり、普及はまだ先との印象を受けた。今回は特にビーチクルザーやBMX等、比較的安価な車種を豊富なカラーバリエーションで数多く出展している企業がいいくつか見られたが、前述の小売店調査ではスポーツ車が主体であり、同車種はほとんど見かけなかった。

近年、東欧自転車市場と言えばチェコ共和国が注目を集め、ポーランドは隣国ドイツの生産拠点としての注目が高かった。金融危機の影響が深刻な中東欧地域の中でも、ポーランドは比較的ダメージが少なかったとされ、そのような時期にポーランドで自転車産業団体が新たに組織され、その協力のもとに同展は初開催された。更にこの翌週には別の主催者によりワルシャワでも自転車展示会が企画される等、同国市場は今俄かに活気づいているといえる。今後、ポーランドが東欧地域第2の市場に成長する可能性もにらみ、同展の成否は大変注目される。来年、同展は2011年10月7日～9日の間、開催予定である。



今回はビーチクルーサーの出展が目についた

以 上

(デュッセルドルフ事務所)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。

